



【戦評シート】

平成 17年 5月 3日(火)	協会名： 能代市 バスケットボール協会						
場 所：能代市総合体育館	記入者：安井正志						
チームA 新潟商業 59	{ <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>21 - 26</td></tr> <tr><td>9 - 16</td></tr> <tr><td>17 - 19</td></tr> <tr><td>12 - 23</td></tr> </table> }           84 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>チームB</td></tr> <tr><td>能代工業</td></tr> </table>	21 - 26	9 - 16	17 - 19	12 - 23	チームB	能代工業
21 - 26							
9 - 16							
17 - 19							
12 - 23							
チームB							
能代工業							

スターター	チームA： 4 5 10 11 12
	チームB： 5 6 7 8 9
ディフェンス	チームA： マンツーマン
(試合開始時)	チームB： ゾーン( 2 - 1 - 2 )

新潟商業マンツーマン、能代工業2 - 1 - 2ゾーンディフェンスで試合がスタート。第1Q序盤は、能代が 橘田のリバウンドシュートなどで得点、新潟は 田中の3Pで応戦、5分を経過して9 - 12 と能代が3点リード。その後、新潟は 小林のジャンプシュートなどで一時逆転するが、能代も 西山の活躍で再逆転し 21 - 26 と5点差で終了。

第2Qは、新潟が能代のゾーンディフェンスを攻めきれずに苦戦し、残り4分 48秒 10点差となったところでタイムアウト。しかし、その後も差は開き、能代は 満原のリバウンドからの速い攻めで加点し一時 19点差とする。しかし、新潟は 田中の3Pなどで7連続得点し、30 - 42と12点能代がリードして前半を終了。

第3Q、能代は 西山が3Pやジャンプシュートで加点し、残り4分 34秒で 36 - 57と差を 21点に広げた。タイムアウト後、新潟は、能代のミスに乗じて 田中が速攻を決めるなどして追い上げ、47 - 61で終了。

第4Qに入っても能代の優位は変わらず、 齊藤のジャンプシュートなどで点差を広げる。新潟は、2回のタイムアウトで流れを変えようとするが、点差は広がる一方となる。最後、能代は1年生を投入する余裕も見せ、59 - 84の25点差をつけて快勝した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。